

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の対象の理解	子どもの食と栄養	後藤 香織	1年次	秋

授業のキーワード	小児 栄養学 発達と味覚
授業の概要	健康な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基本知識を学び、子どもの発育発達と食生活の関連について理解を深める。
期待される学習成果（目標）	子供の栄養は大人とは異なります。成長過程の小児の栄養を年代毎に学びます。このことにより、胎児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期ならではの成長に伴う栄養摂取の違いを身に付けます。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	子どもの健康と食生活	健康と栄養、栄養および栄養素、小児栄養の意義と重要性について	第9講	学童期・思春期の栄養と食生活	学童期思春期の特徴・栄養と食生活 及びその問題点
第2講	子どもの成長と発達	小児期の区分、身体発育、発育の評価方法について	第10講	給食と子どもの食生活	児童福祉施設の給食、保育所の給食、幼稚園の給食
第3講	栄養素の働き	栄養素とその代謝、消化と吸収、日本人の食事摂取基準について	第11講	小児期の病気と食生活	病気の特徴と食生活、治療食、症状疾患別の食事
第4講	食品と献立・調理	食品について 献立について、作成の方法、調理法	第12講	心身障害児の栄養と食生活	食事援助の実際
第5講	母性栄養と胎児の栄養	胎児の発育と栄養、妊娠期の栄養、食生活	第13講	子どもの食教育	食育のあり方 食育の内容と計画及び評価 食育の為の環境
第6講	乳汁栄養	離乳の重要性、離乳の実際	第14講	子どもの食事～実習	実際に作って評価をします。
第7講	離乳	離乳の重要性、離乳の実際	第15講	子供の食事～実習	実際に作って評価をします。
第8講	幼児期の栄養と食生活	幼児期の特徴と栄養、食生活の問題点	定期試験		教科書の範囲から理解度を達成度を確認する筆記試験を行います。
評価方法		11回以上で試験の受験が可能になり、レポート一回が義務になります。課題ができるまで再提出となります。試験での評価をします。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
健康科学論で使用する教科書を使います 食品成分表 2016版実教出版					